地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

京都府八幡市

自治体の課題、現状

- 加速する少子化のスピードに対応するためにも、各校の部活動が活動できなくなる状況になってから取組むのではなく、今から段階的に準備を進め、今の生徒にとっても、将来の生徒にとってもメリットのある、持続可能な環境を整備していきたいと考える。
- 令和6年度は1校1部活のモデルケースを、令和7年度は1校3部活のモデルケースとしてスタートした。
- 地域展開を進めるうえでの課題は人材と財源の確保であり、受益者負担についても検討していかなければならないと考えている。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1,537人
域内の部活動数	44部	実施した地域クラブ数	11クラブ
全体の指導者数	53人	全体の運営スタッフ数	5人
主な運営団体	スポーツデータバンク株式会社		
主な種目	ソフトテニス、ハンドボール、卓球、バスケットボール女子		
平均的な活動回数	2～3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：6人/クラブ 2年：11人/クラブ 1年：11人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	各中学校の施設及び公共施設の体育館

取組の概要や成果

- 民間委託業者の協力の下、八幡市スポーツ協会や八幡市文化協会、八幡市公園施設事業団、やわた市民文化事業団、PTA代表、学校代表の方々に委員を務めていただき、協議会で検討を重ねながら実証を進めている。
- 各中学校で保護者や教員向け説明を行い、段階的に議論と周知を進めてきた結果、教員の地域クラブへの理解が徐々に浸透してきている。
- 小中学校の保護者や教職員に向けて、地域クラブ活動の情報を通信として発行している。

運営体制図

